

令和7年度 石巻市病院事業会計決算の概要及び患者動向等

【資料1】

1 決算の概況

- (1) 令和7年度の総収支は3億9,200万円の赤字となった。圏域内の入院患者の受入調整など経営改革プランに位置付けた取り組み等を実践し、入院収益や人間ドック・健康診断等収益の増収により、医業収益は1,100万円増加した。
- (2) 経常収支は4億5,700万円の赤字となった。赤字の主な要因としては、人事院勧告に基づく職員給与費の増加や委託料など経費の高騰によるところが大きい。
- (3) 医業収益は増加したが、医業収支及び医業収支比率の改善には至っておらず、更なる経営改善が不可欠な状況にある。

(単位：百万円・税抜き)

区分		令和7年度	令和6年度	対前年度比
総収益	A	5,035	4,797	238
経常収益	B	4,827	4,714	113
医業収益	C	3,386	3,375	11
医業外収益	D	1,441	1,339	102
特別利益	E	208	83	125
総費用	F	5,428	5,208	220
経常費用	G	5,284	5,198	86
医業費用	H	5,109	5,023	86
医業外費用	I	175	175	0
特別損失	J	144	10	134
医業収支	C-H	△1,723	△1,648	△75
経常収支	B-G	△457	△484	27
総収支	A-F	△393	△411	18

※正しくは、総収支「△392」であるが、端数処理の関係により「△393」と表記

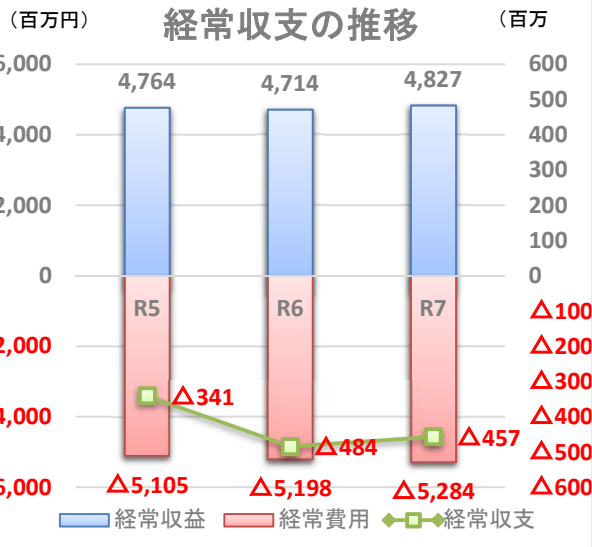
	令和7年度	令和6年度
医業収支比率	66.3	67.2
経常収支比率	91.4	90.7

主な増減要因

市立病院の入院収益の増
国庫補助金の皆増
過年度レセプト再請求による増

給与費及び経費の増

過年度レセプト返戻による増



(2) 外来

- ア 市立病院の外来患者数は前年度比10人の増加に止まり、収益は前年度比700万円の減収となった。
- イ 牡鹿病院の外来患者数は前年度比622人と大幅に減少し、収益についても1,500万円減収となった。
- ウ 全体としては患者数、収益、診療単価全てにおいて前年度に比べ減少となった。

区分	外来収益 (百万円・税抜き)	延患者数 (人)	診療単価 (円)	1日平均患者数 (人)
	対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比
市立	635	△7	13,751	△172
牡鹿	116	△15	10,330	△711
全体	751	△22	13,081	△253



2 収益の状況

- (1) 入院
- ア 市立病院では、経営改善に係る各種取組やベットコントロール等に注力した結果、安定した病床利用率を確保し3,100万円の収益増となった。
- イ 牡鹿病院では、患者数、病床利用率が大幅に減少し、1,800万円の収益減となった。
- ウ 全体では患者数、病床利用率は前年度を下回ったものの、収益では1,300万円の収益増となった。

区分	入院収益 (百万円・税抜き)	延患者数 (人)	診療単価 (円)	病床利用率 (%)
	対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比
市立	2,200	31	38,914	667
牡鹿	13	△18	13,791	1,579
全体	2,213	13	54,938	△1,589

3 費用の状況

- (1) 医業費用全体では、給与費や経費の増加が影響し、8,600万円の増加となった。
(2) 給与費は、人事院勧告に基づく給与改定の影響が大きく、9,000万円の増加となった。
(3) 経費については、物価高騰、人件費上昇に伴う委託料の高騰が影響し3,400万円増加となった。

(単位：百万円・税抜き)			
区 分	令和7年度	令和6年度	対前年度比
医業費用	5,109	5,023	86
給与費	2,756	2,666	90
材料費	583	606	△23
経費	1,110	1,076	34
減価償却費	644	663	△19
資産減耗費	3	2	1
研究研修費	12	11	1
医業外費用	175	175	0
特別損失	144	10	134
合計	5,428	5,208	220

主な増減要因
人事院勧告による給与改定 薬剤の同種同効品への切替 物価高騰、人件費上昇による委託費の増 償却資産の減少による減
過年度レセプト返戻による増

4 資本的収支の状況

- (1) 市立病院では開院9年目となり開院時に購入した医療機器の更新時期が重なっている状況にあるが、『修繕等対応とする延命措置により費用の抑制を図った。

(単位：百万円・税込み)			
区 分	令和7年度	令和6年度	対前年度比
資本的収入	319	250	69
企業債	212	150	62
他会計出資金	103	88	15
他会計負担金	4	6	△2
県補助金	0	6	△6
資本的支出	379	332	47
建設改良費	164	162	2
企業債償還金	215	170	45
差引	△60	△82	22

主な増減要因
借換債の発行による増 企業債償還金の増加による増
新興感染症対応力強化事業費補助金の皆減
企業債償還金の増加による増

5 一般会計繰入金の状況

- (1) 医業収益は、人間ドック等収入の増加により保健衛生行政事務に係る繰入金も減少となっている。
(2) 医業外収益は、年金拠出金に係る負担金や応援医師派遣等医師確保に係る経費の増加により、繰入金も増加している。

(単位：百万円)			
区 分	令和7年度	令和6年度	対前年度比
収益的収入	1,064	1,045	19
医業収益	260	265	△5
医業外収益	744	698	46
特別利益	60	82	△22
資本的収入	107	95	12
合計	1,171	1,140	31

主な増減要因
保健衛生行政事務経費の減 電源立地地域対策交付金の増 H26震災減収対策企業債の償還完了に伴う減
基準内・基準外の割合 市立病院：基準内71.1%・基準外28.9% 牡鹿病院：基準内60.5%・基準外39.5% 2病院計：基準内68.2%・基準外31.8%

6 貸借対照表

(単位：百万円)			
勘 定 科 目	令和7年度	令和6年度	対前年度比
固定資産	8,673	9,171	△498
流動資産	1,001	1,109	△108
現金預金	115	225	△110
未収金	768	638	130
貯蔵品	43	46	△3
其他流動資産	75	200	△125
資産	9,674	10,280	△606
固定負債	711	700	11
企業債	711	700	11
流動負債	1,078	862	216
一時借入金	400	0	400
企業債	150	166	△16
未払金	275	319	△44
引当金	172	174	△2
其他	81	203	△122
繰延収益	7,687	8,230	△543
負債	9,476	9,792	△316
資本金	1,799	1,696	103
剰余金	△1,601	△1,208	△393
資本	198	488	△290
負債資本	9,673	10,280	△607

主な増減要因
減価償却に伴う減
収益以上に費用が増加
牡鹿病院から市立病院に運転資金を貸付
一時借入による皆増
市立病院が牡鹿病院から運転資金を借用 減価償却費に係る長期前受金戻入による減少
※正しくは、対前年度比「△392」であるが、 端数処理の関係により「△393」と表記

7 キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)			
区 分	令和7年度	令和6年度	対前年度比
期首残高	225	602	△377
業務活動によるCF	△465	△310	△155
投資活動によるCF	△142	△130	△12
財務活動によるCF	497	63	434
期末残高	115	225	△110

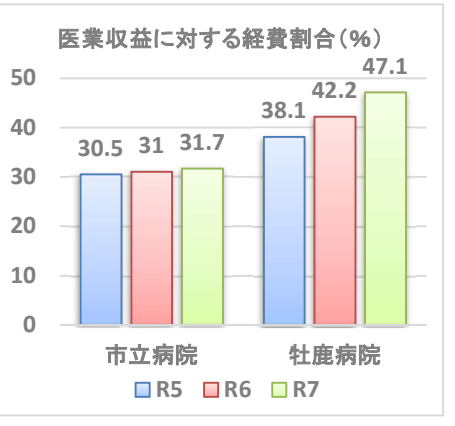
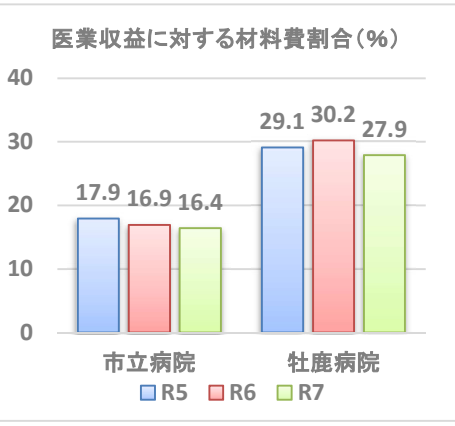
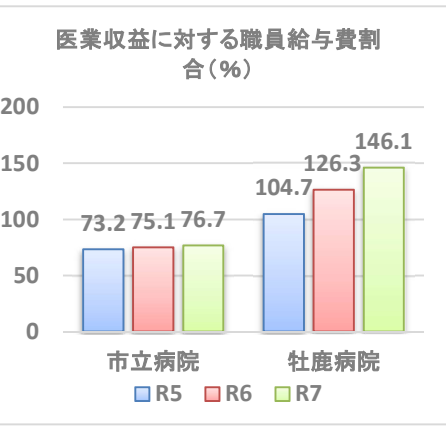
主な増減要因
給与費等の増による減 建設改良費の減 一時借入による増

8 一時借入金の状況

(単位：百万円)		
令和7年度	令和6年度	対前年度比
400	0	400

主な増減要因
預金不足による運転資金として

9 医業収益に対する主要3費用の割合



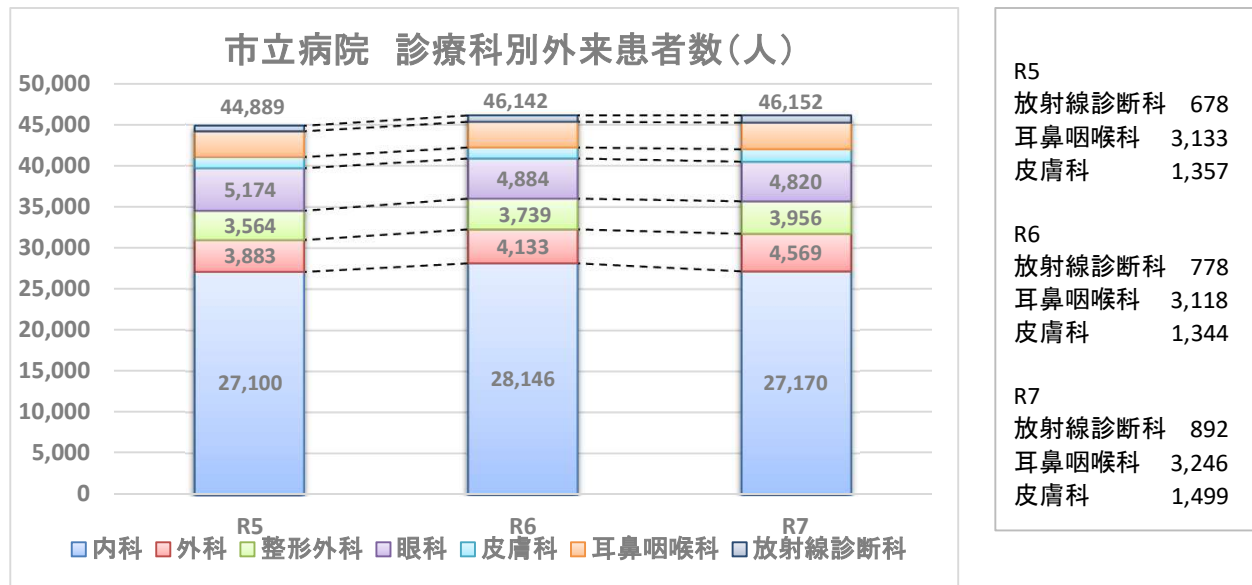
10 病院別決算概要

(単位：百万円・税抜き)					
区 分		市立病院		牡鹿病院	
			対前年度比		対前年度比
総収益	A	4,528	226	507	12
経常収益	B	4,321	102	506	11
医業収益	C	3,154	34	232	△23
医業外収益	D	1,167	68	274	34
特別利益	E	207	124	1	1
総費用	F	4,853	217	575	3
経常費用	G	4,709	83	575	3
医業費用	H	4,552	83	557	3
医業外費用	I	157	0	18	0
特別損失	J	144	134	0	0
医業収支	C-H	△1,398	△49	△325	△26
経常収支	B-G	△388	19	△69	8
総収支	A-F	△325	9	△68	9

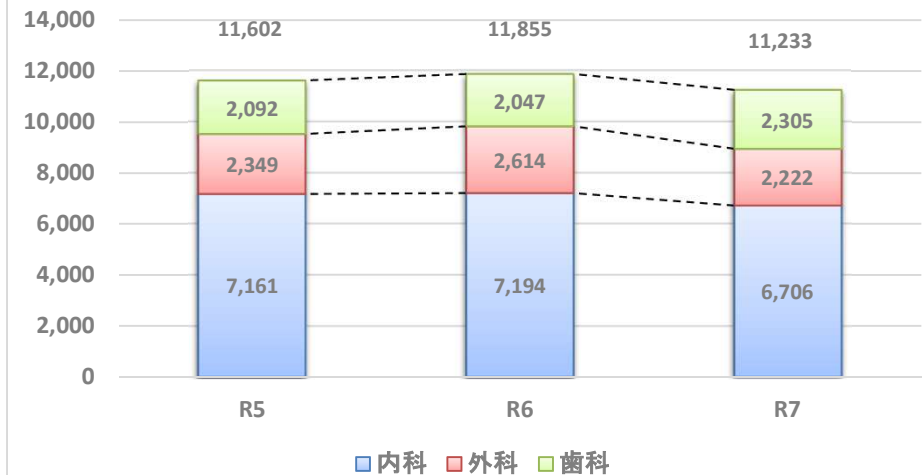
主な増減要因、考察

市立病院	
(1)	医業収益は、入院収益が増加し前年度対比で3,400万円増加、新病院開院以来最大の収益となった前年度を超え、高い水準を維持した。一方、医業費用は長期化する諸物価高騰に加え人事院勧告による給与改定もあり8,300万円増加し医業収支は悪化した。引き続き、社会的要因に対する国、県等への財政支援を求めながら、併せて、経営改善への取組みを推進していく。
(2)	医業外収益の増加要因は、「医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業費補助金」(5,010万円)が皆増したほか、医師確保対策に要する経費等他会計補助金の増加が主な要因である。
牡鹿病院	
(1)	地域が人口減少するなかにあって、入院患者、外来患者ともに減少し、特に入院患者については前年度対比で約6割の大幅な減少となった。医業収益も前年度対比で2,300万円の減少となり、医業収支は悪化している。
(2)	患者数、収益は減少傾向にあり、地域のニーズを踏まえた運営形態、病院機能の見直しが求められたことから、令和8年4月1日から病床を10床減らし15床とし、診療所化を図った「石巻市立病院附属牡鹿医療センター」として運営している。

11 診療科別外来患者数の推移



牡鹿病院 診療科別外来患者数(人)



12 「石巻市公立病院経営強化プラン」の進捗

- 石巻市立病院では、入院において「病床利用率」と「1日平均患者数」は各目標を概ね達成したが、「患者1人1日当たり診療収入」は目標を下回った。
- 外来では、「1日平均患者数」は目標を達成したものの、「患者1人1日当たり診療収入」は目標を下回った。
- 牡鹿病院では、入院における「患者1人1日当たり診療収入」は目標を達成したものの、「病床利用率」と「1日平均患者数」は目標を下回った。
- 外来では、「1日平均患者数」、「患者1人1日当たり診療収入」とともに目標を下回った。

病院名	区分	主な目標項目	目標	実績	達成率
石巻市立病院	入院	病床利用率	82.3%	82.2%	99.9%
		1日平均患者数	148.2人	148.0人	99.9%
		患者1人1日当たり診療収入	42,844円	40,718円	95.0%
	外来	1日平均患者数	185.9人	190.7人	102.6%
石巻市立牡鹿病院	入院	患者1人1日当たり診療収入	15,000円	13,751円	91.7%
	外来	病床利用率	35.9%	10.0%	27.9%
		1日平均患者数	9.0人	2.5人	27.8%
		患者1人1日当たり診療収入	12,095円	14,638円	121.0%
石巻市立牡鹿病院	入院	1日平均患者数	51.3人	46.4人	90.4%
	外来	患者1人1日当たり診療収入	13,318円	10,330円	77.6%
	外来	患者1人1日当たり診療収入	13,318円	10,330円	77.6%
	外来	患者1人1日当たり診療収入	13,318円	10,330円	77.6%